

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 あさひ会	代表者	森田 孝文	法人・事業所の特徴	法人の理念である「あなたらしさ100%」を踏まえ「あなたと共に」を合言葉として、「あたり前の暮らし」、「生活の継続性」、「ご自身の持っている力を発揮できる機会作り」、「落ち着いた雰囲気作り」にこだわり、これまで培ってきた生活や暮らし、その方のこれまでの暮らしに根付いていることを大切に、支援を行っています。具体的には、身近な家庭で行っていることを施設において取り入れ、ご利用者様と共に行っています（食事のしたく、掃除、季節に応じた行事・外出等）。また、それ以外にも個別支援を重視し、お一人おひとりの希望・要望等を支援に反映するよう、取り組んでいます。
事業所名	小規模多機能はまひるがお	管理者	宮元 直樹		

今回アンケートにて	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援C	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	3人	人	1人	1人	人	人	人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	前回の外部評価の意見	今回の改善計画
A. 自己評価の確認	個々の改善計画の質の向上に努めていく。	→改善計画はすべて実施できた訳ではないが、項目によっては、取り組まれ、次年度の改善計画へ質の向上に繋がったものがある。但し、改善計画への取組みや意識は職員間で差異がある。可能な限り、職員間での共通認識をもてるよう、定期的に改善計画の進捗状況の確認や職員間への情報の周知していくことが必要。	改善計画に対する評価に関しては職員間によって差異があるのではないかと？	→個々の改善計画への質の向上に努めていくことを継続する以外に職員間での自己評価に対する共通認識・意識付けを持てるよう、全職員間での改善計画への進捗状況の確認や自己評価に関する情報共有の徹底を行う。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> ・室内の湿度や温度などに配慮し、過ごしやすい環境作りに努める。 ・花壇や環境整備の継続。 	→室内のしつらえ（テーブル席などの配置の工夫・作品の展示等）への配慮や新型コロナウイルス感染防止のため定期的に換気・手に触れる箇所への消毒の徹底は行えた。但し館外の花壇の入れ替えや外部から見える施設周辺の整備には、あまり取り組みを行えなかった。	昔の施設や病院を知っているものからしては、現在の施設は臭いも悪くなく、快適な環境であると思える。	→室内のしつらえや環境整備の継続。又、感染予防対策の継続（室内の換気等に伴う、室温・湿度の調整。又、入館者への体温確認や消毒・手洗いへの働きかけの継続）又、業務の負担がかからない範囲での館外や施設周辺の整備（花壇の整備や雑草等の駆除による美化整備）

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	前回の外部評価の意見	今回の改善計画
C. 事業所と地域のかかわり	<p>新しい生活様式を踏まえた地域との交流の機会を検討していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町の健脚体操への参加。 ・地域行事への参加。 ・施設イベント行事の案内。 ・地域住民への施設会場の提供・地域の高齢者向けのイベント企画の開催。 	<p>→定期的に事業所（学童・こども園・小学校等）間での交流の実施が継続できた以外に今年度3年ぶりに施設において地域交流会（十周年祭）を実施することができた。但し新型コロナウイルス感染前に実施していた町の健脚体操の参加や、地域の方を対象にした健康講話・健康体操等への地域貢献を実施することは全くできなかった。但し、一方で地域の方を対象に買い物や受診の送迎等の移送支援は実施することができた。</p>	<p>講話や健康予防等の地域貢献は実施されなかったが、移送支援といった送迎支援は実施されている。又、町内に後期高齢者の方が多くなっている。外へ出る機会も少ない。そういった方に対して楽しく過ごせる機会を施設においても提供してもらいたい。</p>	<p>→これまでの地域の事業所（学童・こども園・小学校等）への交流会は継続する。又、移送支援においても直接業務に支障のない状況の中で移送支援も継続する。それ以外にも利用者状況や職員体制などを見極めながら以前実施していた町の健脚体操への参加や地域の高齢者向けのイベント活動（講話や健康予防等）の再開を検討していく。</p>
D. 地域に出向いて本人の暮らしをささえる取組み	<p>地域の中で安心して暮らしを続けられるよう、関係者に対し、ご本人・ご家族様の了解のもと、適切な情報提供を行う。又、ご利用者の途切れた地域とのつながり（人・場所等）を修復していく。</p>	<p>→独居の方への町内会費への手続きの代行や地域行事への参加を希望した方に対し、参加できるように手続きの代行を行った。又、これまでお寺に毎年小布施していたが、自身だけではできなくなったため付き添いや代行を行うなど、途切れていた地域とのつながり（人・場所）を修復することができた。</p>	<p>一つ一つの小さいことがとても大切なことであり、何よりも、当事者のご利用者様にとってわからなかったり、不安に思っていることを手助けできることはとても大事なことである。</p>	<p>→前年度の改善計画の継続。同時により一層にご利用様様の身近な不安や要望などを聞き出せるよう、ご利用様様の声を聴くことを徹底し、これまで以上に具体的な地域とのつながりを修復する機会を増やしていく。</p>
E. 運営推進会議を活かした取組み	<p>今後の新型コロナウイルス感染等の状況や新しい生活様式（ZOOM等の活用）を踏まえて会議の在り方を検討していく。</p>	<p>→昨年度オンラインでの会議を1度のみ開催したが、それ以外に書面開催に終わった。但し、2年前に写真等を用いて状況報告の提案があり、書面での状況報告以外に写真などを用いて状況報告を行った。今年度からは町内の会館をお借りし、対面での運営推進会議を再開できている。</p>	<p>アンケートにて特に意見なし。</p>	<p>→これまで以上に事業所の取り組みを地域の方に周知できるよう、現在の定期的参加者以外に近隣の民生委員の方や圏域以外に高齢者総合相談センター職員、地域の社会資源事業所（薬局、学校、学童・こども園）等に参加を無理のない範囲で参加を案内していく。</p>
F. 事業所の防災・災害対策	<p>新型コロナウイルス感染状況等を踏まえ、町内等の防災・火災対策を検討していく。</p>	<p>→今年度、町内行事は再開されたが、防災に関係する行事等の実施はなかった。引き続き町内の動向を確認していく。又、施設内での避難訓練の実施以外に来年度災害に関する</p>	<p>アンケートにて特に意見なし。</p>	<p>→町内の防災・火災対策の動向を把握する以外に通常の火災訓練以外にBCPの実行可能なものに計画書を作成していく。併せてBCPに関する災害訓練も実施していく。</p>

		る BCP（業務継続計画）の作成・訓練の実施が義務化になる。現在計画書を未完成の状態。完成させていく以外に災害訓練なども計画的に実施していく必要がある。		
--	--	--	--	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年6月13日 (14:00~15:00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 10名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	4人	7人	2人	13人

前回の改善計画
前年度の改善計画を継続。⇒担当職員が中心となり、ケアマネが作成した新規利用者のフェイスシートに、知り得た情報を追加して肉付けし、カンファレンス後に回覧していく。 → (方策) 新規の利用者の担当職員を契約終了後、業務日誌に利用開始日と一緒に記載する。その他にも担当職員は、知り得た情報や特性、ADL 状態、活動状況、支援方法等を手書きでフェイスシートに記入し、回覧後、ケース記録に綴る。又、フェイスシートの肉付けは3か月を目途に行う。
前回の改善計画に対する取組み結果
初回時はフェイスシートに目を通すが、その後ケース記録には知りえた情報を記載に残すが、フェイスシートへの記載することまでには至らず。初回時は新規の利用者の情報を知るために目を通すが、それ以降は肉付けには意識が至らなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	利用者の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?		12	1		13
②	ミーティングにおいて、かかわりの初期の目標を共有できていますか?		11	2		13
③	利用者がまだなれていない時期に、訪問や通いで、声掛けや気遣いができていますか?	1	11	1		13
④	初期の目標を念頭においたケアができていますか?		10	3		13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・利用前の情報は共有できている。・慣れていない時期には積極的に話しかけたり、他者との仲介を行っている。・新規利用者への気遣いや配慮はできており、知り得た情報はケースに記載されている。・新規利用者とのコミュニケーションにて情報・特性を理解し、ケース記録にて共有している。・事前に個人情報に目を通し、理解しにくいことは質問している。・体調に応じての声掛けや、話を聞いて関係作りに努めている。又、不安をお聞きしてサービスを増やしている。・新規利用者の方には、なるべくコミュニケーションを取るよう、努めている。・ケアマネからの情報である程度は把握できている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・フェイスシートへの肉付けは殆どできていない。・フェイスシートに情報を追加し、回覧することができていない。・利用者の状態が日によって変化している。対応はできているが、細かな情報や申し送り等はその場の職員だけが情報を得て、他の職員は知られないこともあった。・ご家族の思いが優先されて本人の思いに沿えていない。・本人の思いが把握し辛く、関係が十分に取れていない。・フェイスシートへの肉付けを行うために、注意して利用者様と関わったり、観察をしていない。・ご家族との関係づくりができていない。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

前年度の改善計画を継続⇒担当職員が中心となり、ケアマネが作成した新規利用者のフェイスシートに、知り得た情報を追加して肉付けし、1か月後・3か月後のカンファレンス時に担当職員が参加者に再度肉付けする内容を確認する。また、参加しない職員にも事前に担当職員が聞いておき、カンファレンス時に発表し、フェイスシートに記載を残す。それ以外にも全体で常に知りえた情報をフェイスシートに記載を残すよう声掛けする。また、フェイスシートに該当する項目がなければ、その他の項目を作成し、追記する。また、開催月を忘れないようモニター一覧表に開催月を色分けして表記し、職員全体に周知していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年6月13日 (14:00~15:00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 10名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	5人	8人	人	13人

前回の改善計画	カンファレンスを通して個々のご利用者の方の自己実現、やりがい、張り合いを見つけ出し、具体的な支援に繋げていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	抽象的で曖昧な表現だったこともあり、カンファレンス時にはご利用者の方の自己実現ややりがいにつながるような支援の在り方や方策などの深掘りした話し合いまでには至らなかった。カンファレンス内容は比較的通い時に気づいた出来事や職員側の困りごと・できなかったことなどの話し合いで終わってしまうことが多かった。個々のご利用者の方の人生観や価値観を踏まえてその方のやりがい・いきがいなどに見出すような議論には至らず。「ここに行きたい、この人に会いたい」といったイベント的な出来事があれば取り組みやすかったがそれ以外の願いに対して具体的な施策は至らず。もっと当事者・ご本人の願いに耳を傾けていく必要ではないかとのこと。当事者の思いや実現につながるようなアプローチを試みていく取り組みを今後は実施していく。「家で暮らし続けたい。家にいたい」などの声に対し、具体的な施策を検討し、試みていく。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		1	12		13
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		2	11		13
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		2	11		13
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		3	8	2	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・何人かの方であるが出掛けたり、会えたりしている。・普段のコミュニケーションの中から色々と話をして聞き出している。・個別支援で馴染みの場所に出掛けることができた。・利用者の意見になるべく沿った行動を行えるよう、努めている。・入浴時や送迎時等、ゆっくりと話が出来る際に、本人の思いを聞ければ、話しをしている。・業務の中で外出 (ドライブ) などに出掛けることが増えている。	

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・本人の思いがわからない。
- ・個別的な活動には色々と制約がある。
- ・カンファレンスでは、問題点の改善に向けての話が主になっている。
- ・うまく聞き出すことが出来なかった。
- ・ご自身の「～したい」という思いを言える方は一部で、ストレートに聞いても何もしたくないや、答えが返ってこない場面がある。
- ・日々の業務に追われている現状もあり、「～したい」こと、利用者にとって本当に必要なことを探求するのが難しい。
- ・すぐに行動に移せなかったり、うまく聞き出せないため。
- ・日々の関わりが不十分である。
- ・ご本人の「～したい」を理解していない。
- ・日々与えられた業務を行うのみになっている。
- ・何もしたくないと話される方もいらっしやり、無理強いできない。
- ・要望を聞き出しても具体的な取り組みまで進めていなかった。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

「家にいたい。家で暮らし続けたい」との願いのご利用者の家族に対しご家族の協力を得られるような取り組み・試みを行っていく。⇒(方策)ご本人の思いに目を向けてもらうために、家族へのアプローチの方法をカンファレンス時などで話し合い、見出していく。(対象者を2名に選定し、家族へのアプローチを試み、家族との関係性を深めたり、家族の気持ちの変化・変性を試みていく)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年6月13日 (14:00~15:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 10名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	5人	8人	人	13人

前回の改善計画
介護計画書に添ったケース記録の記載を徹底する。記載の際の項目欄には介護計画書のサービス内容の項目を記載していく。
前回の改善計画に対する取組み結果
ケース記録を記入する際に介護計画書のどの項目に該当すれば良いのか、わからず、次第に項目内容を記載せずに単にリハビリ・食事などと記入していることが多かった。ケース記録は介護計画書を実施した根拠を証明するものであり、介護計画書の内容を職員全体で情報共有していくことがとても大事なことである。そのためにも項目の記載を適切に記入していくことが大切。今後少しでもそれが実施できるような取り組みが必要である。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		2	10	1	13
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?		13			13
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		2	11		13
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?		13			13
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?		9	4		13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・ケースなどに記入し、情報共有ができています。・項目は内容に沿ったことが書かれており、モニタリング時に活用し易い。・訪問対応が増えたが、臨機応変に対応し、自宅生活を支えている。・利用者の体調にすぐ対応している。・本人の状況に合わせた対応をしている。変化があれば申し送りを行っている。・その日の体調やADLに変化のある利用者への観察を行い、状況に合わせて対応している。・当日出勤者・リーダー・管理者へ、気づいたことは報告し、情報共有している。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・本当に必要なことが的確に捉えられていない。 ・本人の能力を活かした自立支援。 ・本人の気持ちが読み取れない。 ・声にならない声を言語化できていない。 ・ケース記録に記載できていないこともあり、知らないこともあった。すべて共有は難しい。 ・記載の際の項目がサービス内容の項目で記載されていない。 ・定期的にケース記録に目を通していない。 ・どの項目（サービス内容）を書いてよいの分からなくなり、以前と同じようになってしまった。 ・以前の暮らしが10個以上把握できていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>前年度の改善計画を継続⇒介護計画書に添ったケース記録の記載を徹底する。記載の際の項目欄には介護計画書のサービス内容の項目を記載していく。（方策して担当職員が介護計画書の中でも記載をできるだけ残してもらいたい項目をカンファレンス時に理由説明も含めて優先的に記載して欲しい項目を提示する。また、介護計画書に重点的に記載して欲しい項目にシールで印をつける。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年6月20日(14:00~15:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 9名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	1人	4人	8人	13人

前回の改善計画
別の対象者に変更し、エコマップの活用は継続していく。エコマップの活用やご本人にも話し合いに参加していただき、その方の地域での暮らしや役割・思いを理解していく。又、意向の課題を抽出し、具体的な支援を検討していく。
前回の改善計画に対する取組み結果
本人を交えてのエコマップづくりを1度行うことができたが、その後は具体的日程を決めていなかったことも影響し、1度のみで終わってしまった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		8	5		13
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		2	10	1	13
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		6	7		13
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		2	7	4	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・独居の方などは、民生委員や町内会長などに連絡したり、連絡を受けたりしている。・エコマップ自体の作成は出来ている。・利用者のコーラス仲間との関係継続のお手伝いをしている。・本人は出掛けることがお億劫に感じていたことから、こちらから友人に連絡し、金沢までの手配を行った。・独居の方は町内会などの関わりがある。・知り合いと金沢のコンサートに行く時に駅まで送迎し、参加することができた。・作成された情報を基に理解し、会話などで聞いた話があれば報告している。・受診にお連れしたり、家族との情報共有は出来ている。・一部のご利用者になるが昔や現在の生活について聞いている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・エコマップの肉付けが出来ておらず、エコマップの厚みがない。・エコマップの作成は1回のみでその後の話し合いができていない。・家族や地域との関係が切れれないような支援ができていない。・現在の状況は把握できているが、それ以前の生活スタイルについては把握することは難しい。・地域資源について民生委員の方と会って話す機会がほとんどなく、地域の資源を活用できていない。・エコマップを活用できていない。・業務が優先となり、関わりが不十分である。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

前年度の改善計画を継続。⇒開催日を決めて、ご本人を交えてエコマップを作成し、その方の地域での暮らしや役割・思いを理解していく。又、意向の課題を抽出し、具体的な支援を検討していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年6月20日(14:00~15:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 9名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	12人	人	人	13人

前回の改善計画
・申し送りや情報共有の徹底・強化を行うことで、スタッフ全体が柔軟性のある支援・対応を図れるよう取り組んでいく。(情報を正しく理解できるよう、写真などを用いて視覚的に分かりやすく申し送り等を行う。但し、十分にプライバシーに配慮し、事業所のIT機器を用いていく)
前回の改善計画に対する取組み結果
LINEを活用しておおまかな情報共有は図れたが、細かな変更点など申し送られていなかったり、話し合いの場になかったら、知らないことも多い。LINEの活用、動画や画像により情報伝達しやすくなったこともあるが、細かな点は周知しきれていない時が多い。その点を今後踏まえた改善計画を作成する必要がある。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		2	11		13
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	3	7	3		13
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	1	11	1		13
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	1	12			13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・体調などに合わせて通いの追加や泊まりの対応を行うことがある。 ・LINEを使って情報共有が出来ていた。 ・本人の状況に合わせて通いや訪問、泊まりを柔軟に変更している。 ・支援・対応について視覚的にも取り組み、分かりやすくしている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・必要な方に対するサービス(通いの回数や訪問時間・回数など)が行き届けていないと思う。 ・定期的泊まりが多いため、急な居室の確保が難しい。 ・「良い変化」に気づくのが遅れがちかもしれない。 ・地域資源の把握や活用ができていない。 ・すべての情報を記録に残すなど、情報を周知するのは難しい。口頭だけで遣り取りすると、いなかった職員に情報共有ができていない。 ・プライバシーの配慮について利用者に聞こえる声で話してしまうことがあり、配慮に欠けることがある。 ・本人のニーズに合っていない。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

前年度の改善計画を継続。⇒申し送りや情報共有の徹底・強化を行うことで、スタッフ全体が柔軟性のある支援・対応を図れるよう取り組んでいく。(対応や支援内容に変更があった時は、情報把握しやすくするために業務日誌の申し送り欄と具体的な変更点を記入したケース記録の項目箇所に赤丸をつける。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年6月20日(14:00~15:00)

6. 連携・協働

メンバー 9名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	11人	人	1人	13人

前回の改善計画	学童交流会などの実施は市内の健脚体操等の運営状況等を参考に取組みを進めていく。又、現段階では飲食を伴う行事は控える。(餅つき大会等)
前回の改善計画に対する取組み結果	コロナの発生状況をみながら学童交流会や安宅小学校への雑巾寄贈など実施できた。但し町内行事や餅つきなどの地域交流の機会を作ることができなかった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?		5	1	7	13
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?		4	1	8	13
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?		1	2	10	13
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	1	1	5	6	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・ZOOMなどを使用し、会議などにも参加している。・学童交流会も再開している。・学童交流等は徐々にできるようになっている。・コロナ禍ではあるが、可能な範囲で活動できていた。・学童との交流会、学校への雑巾寄贈、こども園との交流会も行うことができた。・学童交流会では利用者と一緒に大きな布の染め作品作りができた。・西部児童センターの屋外にてシャボン玉飛ばしのイベントに参加することができた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・全体的に外部との接触が殆どなかった。・他のサービス機関を交えた担当者会議の開催を行えていない。・地域の活動やイベントに参加できていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
前年度の改善計画を継続⇒コロナウィルス感染状況を引き続き注意を払いながら地域交流の機会をこれまで以上に拡げたり、参加回数を増やしていく。(具体的にはご利用者が暮らしている地域での町行事(夏祭りや町内秋祭り等)に参加できるよう支援する。また、法人の地域貢献活動への参加にもこれまで以上に積極的に行っていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年7月4日 (14:00~15:30)

7. 運営

メンバー 9名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	3人	8人	2人	13人

前回の改善計画

活動検討会を継続実施する以外に会議時において議論や意見を活発に言える環境を作り努める。(具体的にはPDCサイクルを実施して活動の質を向上させていく。⇒検討会→振り返り→改善→検討会のサイクルを繰り返す【例】レクのアイデアを募集→次回の会議時に参加者より意見を挙げる→挙がったアイデアを実施する)

前回の改善計画に対する取組み結果

内容の深掘りやアイデアを出し合うまでには至らなかったが、定期的に活動検討会を実施できた。又、基本的な必要事項や各活動の進捗状況等は全体に周知することはできた。引き続き活動検討会を実施する以外に新たな運営に関しての取り組みを行うこととなった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?		6	6	1	13
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?		12	1		13
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		9	3	1	13
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?		3	7	3	13

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- 活動検討会は定期的に行っていた。大きな行事も協力して行えた。
- 3か月に1回の活動検討会を行えている。
- 利用者の家族からの指摘や意見には対応している。
- 回覧版やごみステーションへのごみ捨てについての苦情などに対し、すぐに対応している。
- 以前は臨床美術のセッションを少人数で行ってきたが、アートプログラムを簡単なものにし、出来るだけ多くの利用者に参加してもらい作品を制作してもらえた。
- 月ごとの企画や行事を工夫して行えた。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- 会議時において、意見が出やすい環境ではない。「特にない」ということが多く聞かれる。
- 運営懇談会の開催は1回のみで地域から意見を聞く機会もなかった。
- 地域と協働した取り組みを行っていない。
- 利用者、家族の気持ちが分からず、意見が言えないことがある。
- 会議等で活発な発言はあまりない。
- 活動検討会は実施されているが、話し合われたことが実際の場面に反映されていない。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

活動検討会は前年度同様の形式で継続する以外に地域との語らいの場である運営懇談会に介護職員も定期的に参加し、地域の声を直接聞いていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年7月4日 (14:00~15:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 9名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	8人	7人	人	人	13人

前回の改善計画	2か月に1度のペースでのKYTを継続する。又、実際のご利用者様の事例などを用いてKYT研修を行う。併せて事故報告書やひやりはっとなどの実際の内容も検証していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	定期的なKYT研修、実践内容に基づいた研修ができたが日常的な行われているひやりとした場面に対して鈍感・マンネリ化している点もある。その点を再度意識できるような取組みを行う必要がある。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	1	11	1		13
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか			6	7	13
③	地域連絡会に参加していますか		2	2	9	13
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		11	2		13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・KYT研修は日程が決められているので行えている。・KYTに関しては事例を中心に作成できた。又、近々の問題をKYT研修をすることで問題共有できたと思う。・定期的にKYTは行えている。・KYTに参加する前にテーマについて職員間で話し合うなど、日常的にも危険原因について解決案を相談している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・外部研修は全く参加できていない。・KYTで学んだことが日々の実務に活かしているか不明である。・職場外研修やスキルアップのための研修会には参加できていない。・リスクマネジメントに取り組んでいるが、利用者の見守りに手が回らなかつたり、職員で連携が取れないこともある。・ヒヤリや事故報告書について全体での話し合いが出来ていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
KYT研修は前年度と同様に継続する。又、ヒヤリハットを踏まえたKYT研修を実施していく。同時にケース記録にこまめにひやりとしたことを記入に残す。(記載の多いひやりをKYT研修に取り入れる)	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年7月4日(14:00~15:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 9名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	人	13人	人	人	13人

前回の改善計画	
人権やプライバシーに関しての研修会を継続する。その中で日々の(人権・プライバシーを配慮した)自分たちのかかわりを振り替えられる研修内容にしていく。(研修に反映できるようなアンケートなども取り入れたり、担当者は職場外研修に参加し、座学も取り入れていく)	
前回の改善計画に対する取組み結果	人権やプライバシーに関する研修会を開催することができた。しかし日頃のご利用者様との関わりや接している際、言葉遣いや態度・対応などにおいて不適切な行為がみられることがある。接遇や対人関係においてのマナーを見直す必要がある。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 身体拘束をしていない	1	10	2		13
② 虐待は行われていない	2	10	1		13
③ プライバシーが守られている		7	6		13
④ 必要な方に成年後見制度を活用している		2	1	10	13
⑤ 適正な個人情報の管理ができている		7	5	1	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・研修は行っており、参加できなかった職員にもきちんとアンケート形式で発言できており、全員参加となっている。・研修会を行った。・虐待を行わないように意識をもって介助している。・人権やプライバシーの職場内研修を行っていない。・身体拘束を行うことなく、支援できている。・職員や利用者の情報は他の利用者に話さないよう気をつけている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・一部身体拘束を容認してしまった。 ・日々の業務内におけるプライバシーへの配慮が欠如している所がある。 ・話し方が強めになっていることがある。 ・職員同士の話が利用者に聞こえていることがあり、個人情報の配慮に欠けている。 ・転倒リスクがある時やトイレで汚れてしまう時に「さわらない」、「ちょっと待って」と言ってしまう場合がある。 ・職員のペースで介助してしまう時がある。 ・「ちょっと待って」と言ってしまう時がある。 ・強い口調での声かけ、子ども扱いした声かけをしてしまう時がある。 ・ご利用者のことを大きな声で話してしまい、プライバシーの配慮に欠けている。 ・排泄に関して他の方に聞こえてしまう声で話す。 ・耳の遠い方が多く、ジェスチャーなどで伝えてもうまく伝われないことが多い。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>人権やプライバシーに関する研修会は前年度同様の形式で継続する。又、接遇やマナー（人権尊重しながらの接し方）についての研修会を実施する。</p>	